



特定行為に係る看護師の研修制度への自治医科大学 看護師特定行為研修センターの取り組みと展望 ～第1期 研修修了式を終えて～

自治医科大学 看護師特定行為研修センター・大学院看護学研究科
看護技術開発学 兼 看護学部 村上礼子

団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、医療・介護の需要がこれまで以上に高まっていく中で、今後の医療を支えていくためにはチーム医療の一層の推進が不可欠です。このような状況において、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）により、保健師助産師看護師法の一部が改正され、新たに「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設されました。この制度は、看護師が医師の判断を待たずに、事前の指示（手順書）により行う一定の診療の補助（特定行為）を標準化することにより、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくことを目的としています。現在、38 の特定行為で 21 の特定行為区分の研修が定められています。



自治医科大学では、医療に恵まれない地域社会の医療の確保と向上および地域住民の福祉の向上に貢献できる医療人の育成という大学の理念を踏まえ、2015 年 8 月に看護師特定行為研修センターを設置し、指定研修機関の第 1 号として厚生労働省の指定を受け、2016 年 10 月より全学体制で 19 の特定行為区分の看護師特定行為研修を開始しました。本研修センターでは、地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、高度な臨床実践能力を発揮し、自己研鑽を継続しながらチーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師を育成することを目的としています。

研修生は、研修目的に到達すべく、手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力、高度かつ専門的な知識・技能の向上を図るための学習としての「共通科目（臨床病態生理学、臨床推論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学等）」と選択する特定行為ごとに異なる「区分別科目」の研修を受けます。本研修センターでは、就労しながら、遠隔地でも研修を受講できることよう ICT 教育を活用しています。具体的には、共通科目として約 4 か月間の E ラーニングを受講し、その後試験、共通科目の実習と進みます。概ね約半年で共通科目を終え、その後、自らが選択した特定行為の各区分別科目の E ラーニング、試験、実習と進み、約 1 年間で研修修了となります。

この度、2015 年 10 月から研修を開始した 30 名の研修生のうち、23 名は半年間の共通科目ならびにそれぞれが希望する特定行為区分の研修を終え、第 1 期修了生として修了式を迎えることができました。第 1 期修了生は、北は北海道から南は宮崎まで、全国各地から研修を受けていました。それぞれの選択した区分別科目では、多くの研修生は自治医科大学附属病院や附属さいたま医療センターの医師の指導を受け、特定行為の修得に励み、多くの学びを得ました。また、自施設で実習をうけた研修生も、同様に自施設の看護部の協力を得ながら、医師の指導を受け実習を無事終えています。研修生が選択している区分別科目は、それぞれの自施設で今後必要と考えられた特定行為区分です。選択された区分別科目は、動脈血液ガス分析、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、呼吸器（気道確保に係るもの）関連、創傷管理関連やろう孔管理関連と、高度医療から在宅医療での活用頻度の高い特定行為区分が多く選択され、修了しました。

修了生はこれから、各自の病院施設や訪問看護ステーションの現場で、修得したスキルを活かしていくこととなります。研修制度が開始し、まだ1年という現状では、何をどのように活動したら理にかなうのか、修了生自身これからも現場で模索し続けることが多いと思います。とはいえ、地域包括ケアあるいは地域医療ビジョンに大きな役割を果たす可能性があることを踏まえ、さらなる自己研鑽と、各現場でのチーム医療の推進に力を発揮していくことでしょう。修了生がより円滑に活躍できるよう本研修センターでは研修修了後も引き続き修了生に対してフォローアップをしていく予定です。また、第1期修了生の活躍のためはもとより、第2期修了生、第3期修了生と継続していくためにも、自治医科大学関係者ならびに卒業生には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特定行為研修にご興味のある方がおりましたら、ぜひ、看護師特定行為研修センターホームページ、もしくは、自治医科大学看護師特定行為研修センターMoodle ページをご覧ください。研修生の募集は年2回行っています。

看護師特定行為研修センターホームページ：<http://www.jichi.ac.jp/tokutei/index.html>

自治医科大学看護師特定行為研修センターMoodle ページ：<http://wma4.jichi.ac.jp/moodle/>

| 3月/9月 | 4月/10月 | 10月/4月 | 3月/9月 |
|--|---|---|----------------------------|
| オリエンテーション | 共通科目 | 区分別科目 | 修了式 |
| <p>特定行為研修およびその学習方法を理解することが目的。</p> <p>・特定行為研修制度に関する説明</p> <p>・学習方法に関する説明</p> <p>①eラーニング</p> <p>②演習、実習</p> <p>・施設説明</p> <p>*2015年10月期生に対しては、9月末に<u>対面</u>(1日)にて実施した。</p> | <p>看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能であって、全ての特定行為区分に共通するもの向上を図るための研修。</p> <p>・9科目必修 臨床推論/フィジカルアセスメント I, II 病態生理/疾病論 I, II 臨床薬理学 医療安全学 特定行為と手順書 特定行為基礎実習 I, II</p> <p>・学習方法 eラーニング、対面講義、演習、実習</p> | <p>看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能であって、特定行為区分ごとに異なるもの向上を図るための研修。</p> <p>・19科目から選択 *複数選択可能、受講開始後の追加申請も可能</p> <p>①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ④循環器関連 ⑤胸腔ドレーン管理関連 ⑥腹腔ドレーン管理関連 ⑦ろう孔管理関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理（未梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ⑩創傷管理関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬透析管理関連 ⑭栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑮感染に係る薬剤投与関連 ⑯血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 ⑲皮膚損傷に係る薬剤投与関連</p> <p>・学習方法 eラーニング、対面講義、演習、実習</p> | <p>在籍可能年限 ：入校より2年間</p> |

！！地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集！！

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先:地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

[発行]自治医科大学大学院医学研究科
地域医療オープン・ラボ運営委員会
事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL 0285-58-7044/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>